

## 【ユーロ】 リスクオン環境だと165円突破を打診

	直近1週間のレンジ	今後1週間の予想レンジ	今後3ヶ月の予想レンジ
ユーロ/円	161.58-164.92円	162.50-166.00円	155.00-170.00円

ユーロ/円相場は、1ユーロ=164円台前半までじり高の展開になり、昨年11月15日以来の高値を更新した。通商リスクの軽減評価から投資家のリスク選好性が高まる中、ドル/円相場の堅調地合と連動して、ユーロ/円相場も小幅上昇する展開になった。ドルの反発傾向が続く中、対ドルではユーロは下値模索の展開になっている。米中両国が関税の大幅引き下げで合意したこともあり、株高連動でドルが堅調に推移している。このため、対ドルではユーロが約1ヵ月ぶりの安値を更新しているが、ユーロ/円相場に関しては横ばいから小幅高になった。為替市場全体がドルの乱高下に対応しているため、ユーロ/円相場の積極的な売買までは求められなかったが、最近の取引レンジ上限を上抜きつつある。

5月8日に米英貿易協定が締結され、12日には米中両国が関税引き下げを発表した。米欧の通商協議に関しては特段の目新しい動きなどは報告されておらず、欧州中央銀行（ECB）の利下げ見通しに変化は生じない。複数の欧州当局者発言が予定されているが、利下げスタンスは維持される見通し。ただし、マーケットの関心は日欧の金融政策環境よりも、通商環境に集中している。株価がトランプ米大統領の相互関税発動前の水準を回復するなど過熱感が強くなっていることに注意が必要だが、先行きに対する悲観ムードの蒸し返しが見られないのであれば、対ドルではユーロ安、対円ではユーロが横ばいから小幅高の展開になろう。ユーロ/円相場の大きな値動きまでは想定されていないが、165円の節目を打診する展開になる見通し。

サイコロジカルは、前週の5勝7敗から4勝8敗に。14日RSIは58.72。

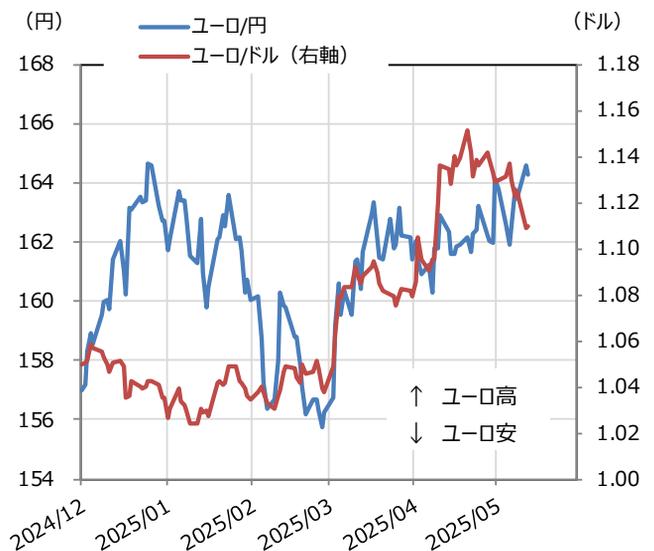
### 注目イベント

#### 【ユーロ圏】

- 05/13 (火) 5月ZEW景況感指数
- 05/15 (木) 1~3月期GDP
- 05/15 (木) 3月鉱工業生産
- 05/16 (金) 3月貿易収支
- 05/19 (月) 4月消費者物価指数
- 05/20 (火) 3月建設支出
- 05/20 (火) 5月消費者信頼感指数
- 05/22 (木) 5月製造業PMI
- 05/22 (木) 5月サービス業PMI

#### 【日本】

- 05/14 (水) 4月国内企業物価指数
- 05/16 (金) 1~3月期GDP
- 05/16 (金) 3月鉱工業生産
- 05/21 (水) 4月貿易統計
- 05/22 (木) 3月機械受注



## 政策金利一覧

(%)	日本	米国	ユーロ圏	豪州
2023/01	-0.10	4.50	3.00	3.10
2023/02	-0.10	4.75	3.00	3.35
2023/03	-0.10	5.00	3.50	3.60
2023/04	-0.10	5.00	3.50	3.60
2023/05	-0.10	5.25	3.75	3.85
2023/06	-0.10	5.25	4.00	4.10
2023/07	-0.10	5.50	4.25	4.10
2023/08	-0.10	5.50	4.25	4.10
2023/09	-0.10	5.50	4.50	4.10
2023/10	-0.10	5.50	4.50	4.10
2023/11	-0.10	5.50	4.50	4.35
2023/12	-0.10	5.50	4.50	4.35
2024/01	-0.10	5.50	4.50	4.35
2024/02	-0.10	5.50	4.50	4.35
2024/03	0.10	5.50	4.50	4.35
2024/04	0.10	5.50	4.50	4.35
2024/05	0.10	5.50	4.50	4.35
2024/06	0.10	5.50	4.25	4.35
2024/07	0.25	5.50	4.25	4.35
2024/08	0.25	5.50	4.25	4.35
2024/09	0.25	5.00	3.65	4.35
2024/10	0.25	5.00	3.40	4.35
2024/11	0.25	4.75	3.40	4.35
2024/12	0.25	4.50	3.15	4.35
2025/01	0.50	4.50	2.90	4.35
2025/02	0.50	4.50	2.90	4.10
2025/03	0.50	4.50	2.65	4.10
2025/04	0.50	4.50	2.40	4.10
2025/05	0.50	4.50		
2025/06				
2025/07				
2025/08				
2025/09				
2025/10				
2025/11				
2025/12				

## 注意事項

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。

本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。

本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。

本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

## 発行会社

- 【会社名】 マーケットエッジ株式会社 (Marketedge Co., Ltd.)  
【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1 (古川ビル4F)  
【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>  
【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 【執筆者プロフィール】

マーケットエッジ株式会社 代表取締役/商品アナリスト 小菅 努 (こすげ・つとむ)  
1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物取引会社の営業本部を経て、同時テロ事件直後のニューヨーク事務所にてコモディティ・金融市場の分析を学ぶ。帰国後は調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社代表に就任。金、プラチナ、原油、天然ガス、天然ゴム、コーン、小麦、大豆、コーヒー、ココア、砂糖、綿花などのコモディティ市場を中心に、金融市場もカバー。主に法人向けのコモディティレポート配信、寄稿、講演等を行う。

E-mail: [kosuge.tsutomu@outlook.com](mailto:kosuge.tsutomu@outlook.com)

Twitter @kosuge\_tsutomu